

(別紙 12)

各種点検記録様式

場内巡視日誌

総括

平成 年 月 日 ()

点検時刻		時	分	時	分					
終了時刻		時	分	時	分					
点検者										
場所	点検事項		点検結果		点検結果					
1.特高変電所	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
	建屋	施錠確認	良	否	良 否					
2.自家発電機棟	重油貯槽	配管漏洩確認	良	否	良 否					
	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
3.最初沈殿池	建屋	施錠確認	良	否	良 否					
	電気室	消灯確認	良	否	良 否					
	電気室	施錠確認(2箇所)	良	否	良 否					
	建屋	防水扉閉鎖確認	良	否	良 否					
	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
4.主流入ゲート棟	建屋	施錠確認(1F.3箇所)	良	否	良 否					
	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
	建屋	施錠確認(3箇所)	良	否	良 否					
5.沈砂池棟	電気室	消灯確認	良	否	良 否					
	電気室	施錠確認(4箇所)	良	否	良 否					
	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
	建屋	施錠確認(6箇所)	良	否	良 否					
6.ポンプ送風機棟	電気室	消灯確認	良	否	良 否					
	電気室(1F・2F)	施錠確認(1F:5箇所、2F:3箇所)	良	否	良 否					
	送風機	異常確認	良	否	良 否					
	主ポンプ(B1・B2・1F)	異常確認	良	否	良 否					
	建屋	消灯確認	良	否	良 否					
	建屋	施錠確認(2箇所)	良	否	良 否					
7.反応タンク 最終沈殿地	電気室	消灯確認	良	否	良 否					
	電気室	施錠確認(4箇所)	良	否	良 否					
	階段室	施錠確認(7箇所)	良	否	良 否					
	危険物倉庫	施錠確認	良	否	良 否					
	最終沈殿池	白濁・汚泥流出確認	良	否	良 否					
	次亜塩素酸ソーダ貯槽	漏洩確認・施錠確認	良	否	良 否					
8.施設周辺	屋外灯	点灯確認	良	否	良 否					
	施設内	不審物確認	良	否	良 否					
9.污泥処理棟	污泥処理棟南側入口防水扉	施錠※	良	否	良 否					
10.正門	正門	施錠(6時開場-20時施錠)※	良	否	良 否					
11.管理棟	玄関防水扉	施錠(6時開錠-21時施錠)※	良	否	良 否					
	水質防水扉	施錠(6時開錠-21時施錠)※	良	否	良 否					
	2階階段扉	施錠(6時開錠-21時施錠)※	良	否	良 否					
施錠開錠箇所	ポン送棟玄関	開閉	HT1系C階段	開閉	初沈1階階段	開閉	主流入棟北東側	開閉	正門	開閉
	ポン送棟東側入口	常時閉	HT2系D階段	開閉	1階電気室	常時閉	主流入棟北西側	開閉	管理棟玄関防水扉	開閉
	1系低圧電気	常時閉	HT2系E階段	開閉	1階換気室北側	常時閉	主流入棟南側	開閉	管理棟水質防水扉	開閉
	1系高圧電気	常時閉	HT2系F階段	開閉	1階換気室南側	常時閉	沈砂池玄関	開閉	管理棟2階階段	開閉
	2系低圧電気	常時閉	終沈1系G階段	開閉	1系防水扉	常時閉	沈砂池搬出室	開閉	污泥処理棟南側入口防水扉	開閉
	2系高圧電気	常時閉	終沈2系H階段	開閉	1系搬入扉	常時閉	沈砂池南側	常時閉	特高棟	常時閉
	消毒機械室	常時閉	終沈2系I階段	開閉	2系防水扉	常時閉	沈砂池北側	常時閉	自家発棟	常時閉
	消毒監視室	常時閉			2系搬入扉	常時閉	危険物倉庫	常時閉		
	危険物倉庫	常時閉			A1機台東側防水扉	常時閉	工作室	常時閉		
備考 ※正門:日曜日は終日施錠、污泥処理棟・管理棟:土日祝は終日施錠										

総括	点検者

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
---------	------------	-------------	------------	--------	-----------	---------

1F 着水井		操作モード	開度%	ランプ確認	1F 着水井		操作モード	開度%	ランプ確認	上水メーター	
着水井流入ゲート	No.1	現場・遠方	%		着水井流出ゲート	No.1	現場・遠方	%		時間	:
	No.2	現場・遠方	%			No.2	現場・遠方	%		100A	m ³
						No.3	現場・遠方	%		20A	m ³

B1F ゲート設備		操作モード	開度%	ランプ確認	ゲート設備		操作モード	開度%	ランプ確認
沈砂池流入ゲート	No.1-1	現場・遠方	%		沈砂池流入ゲート	No.2-1	現場・遠方	%	
	No.1-2	現場・遠方	%			No.2-2	現場・遠方	%	

ゲート設備		操作モード	開度%	ランプ確認	ゲート設備		操作モード	開度%	ランプ確認
沈砂池流出ゲート	No.1-1	-	%		沈砂池流出ゲート	No.2-1	-	%	
	No.1-2	-	%			No.2-2	-	%	

除砂機械設備		操作モード	電流値A	砂掻揚状況	バケット変形	チェーン張り	油漏れ	異音・振動	軸受温度	換気扇	ランプ確認
沈砂掻揚機	No.1-1	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.1-2	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.2-1	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.2-2	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	

沈砂移送装置 沈砂振出機		操作モード	電流値A	槽内浮遊物	スクリーン変形	チェーン張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
		単独・連動	(7.97)							

粗ゴミ分離機		操作モード	電流値A	コンテナ堆積量 <th>スクリーン変形</th> <th>チェーン張り</th> <th>グリース漏れ</th> <th>異音・振動</th> <th>軸受温度</th>	スクリーン変形	チェーン張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度
		単独・連動		有・無					

しよ洗浄槽		前段水位	後段水位	オーバーフロー
		mm	mm	有・無

しよ処理設備		操作モード	電流値A	Vベルト張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
しよ洗浄攪拌機	No.1	単独・連動	(7.9)					
	No.2	単独・連動	(7.9)					

しよ処理設備		操作モード	電流値A	シーケンサ異常	異音・振動	軸受温度
しよ破砕機	No.1	単独・連動	(27.7)			
	No.2	単独・連動	(27.7)			

しよ処理設備		操作モード	電流値A	圧力MPa	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度
しよ移送ポンプ	No.1	単独・連動	(29.0)	MPa			
	No.2	単独・連動	(29.0)	MPa			

沈砂処理設備		操作モード	電流値A	液位確認	トラフ沈砂堆積	Vベルト張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
沈砂洗浄機 (攪拌機)	No.1	単独・連動	(21.5)		有・無					
	No.2	単独・連動	(21.5)		有・無					

沈砂処理設備		操作モード	電流値A	しよ除去状況確認	チェーン変形	チェーン張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度
しよ掻揚機	No.1	-	(1.88)						
	No.2	-	(1.88)						

沈砂処理設備		噴射出口圧力	噴射入口圧力	異音・振動
沈砂移送ポンプ	No.1	Mpa	Mpa	
	No.2	Mpa	Mpa	

除塵機械設備		操作モード	電流値A	しよ除去状況確認	チェーン変形	チェーン張り	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	換気扇	ランプ確認
自動除塵機	No.1-1	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.1-2	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.2-1	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	
	No.2-2	現場・遠方	(4.74)							ON OFF	

しよ振出設備		操作モード	電流値A	ベルト変形・張り	ローラー異音・割れ	チェーン変形・割れ	水受け状況	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
しよコンベヤ	No.1	単独・連動	(3.5)								
	No.2	単独・連動	(3.5)								

共通設備		操作モード	圧力MPa	外観異常	ランプ確認
沈砂池 ピント排水ポンプ	No.1	手動・自動	MPa		
	No.2	手動・自動	MPa		

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1,No.2両方に○をつけること。

特記事項	沈砂 掻揚機	1-1	9:45 ~ 10:22	自動 除塵機	1-1	10:30 ~ 10:37
		1-2	10:22 ~ 10:53		1-2	10:34 ~ 10:41
		2-1	10:53 ~ 11:22		2-1	10:38 ~ 10:45
		2-2	11:22 ~ 11:53		2-2	10:42 ~ 10:49

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[着水井・沈砂池設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中				
B1F	用水設備		操作モード	電流値(A)	圧力(MPa)	異音・振動	受水槽レベル	ランプ確認				
	受入沈砂移送 加圧水ポンプ	No.1	単独・連動	(67.0)	MPa		M					
		No.2		(67.0)	MPa							
	沈砂移送 加圧水ポンプ	No.1	単独・連動	(130.0)	MPa							
		No.2		(130.0)	MPa							
	しよ系給水ポンプ	No.1	単独・連動	(23.5)	MPa							
		No.2		(23.5)	MPa							
	外部受入給水ポンプ		単独・連動	(63.0)	MPa							
	沈砂系給水ポンプ	No.1	単独・連動	(63.0)	MPa							
		No.2		(63.0)	MPa							
処理水ストレータ		操作モード	原水側圧力(MPa)	処理水側圧力(MPa)	逆洗運転時間							
		手動・自動	MPa	MPa	h	m	s					
1F	沈砂搬出設備		重量	コンテナ積載重量	ブリッジ	ランダー異音・振動	先行ホッパ	ランプ確認				
	沈砂ホッパ	No.1	t	t			1 2					
		No.2	t									
	しよホッパ		重量	コンテナ積載重量	ブリッジ	ランダー異音・振動	ランプ確認					
		t	t									
2F	沈砂しよ処理設備		操作モード	電流値(A)	スクリーン詰まり	越流状況	チェーン張り	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
	沈砂・しよ分離機	No.1	単独・連動	(7.97)								
		No.2	単独・連動	(7.97)								
	沈砂処理設備		操作モード	電流値(A)	スクリーン詰まり	粗大物堆積状況	異音・振動					
	沈砂分級機	No.1	単独・連動	(4.8)								
		No.2	単独・連動	(4.8)								
	沈砂処理設備		操作モード	電流値(A)	スクリーン変形	チェーン張り	浮遊物状況	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度		
	沈砂水切機	No.1	単独・連動	(4.74)								
		No.2	単独・連動	(4.74)								
	沈砂コンベヤ		操作モード	電流値(A)	ベルト変形・張り	ローラー摩耗・割れ	チェーン変形・張り	水受け状況	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
			単独・連動	(3.5)								
	しよ分離機		操作モード	スクリーン詰まり	チェーン張り	スクリーン動作確認	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認		
			単独・連動									
	しよ脱水機		操作モード	電流値(A)	油圧	回転筒詰まり	背圧板詰まり	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
			単独・連動	(14.4)	MPa							
	スクラム除去設備		操作モード	電流値(A)	スクリーン詰まり	チェーン張り	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認		
	スクラム分離機	No.1	単独・連動	(1.1)								
		No.2	単独・連動	(1.1)								
	スクラム脱水機		操作モード	電流値(A)	油圧	回転筒詰まり	背圧板詰まり	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
			単独・連動	(4.74)	MPa							
スクラム移送コンベヤ		操作モード	ベルト変形・張り	ローラー摩耗・割れ	チェーン変形・張り	水受け状況	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認		
		単独・連動										
沈砂池脱臭ファン		操作モード	電流値(A)	Vベルト張り	異音	油面・漏れ	異音・振動	水封確認	ランプ確認			
		手動・自動	(14.4)									
		脱臭ファン	圧力損失	脱臭塔	圧力損失							
			kPa		kPa							
2F	換気機械室 PP-2-1		操作モード	電流値(A)	異常確認		操作モード	電流値(A)	異常確認			
	給気ファン (FS)	FS-1	運転・停止	(15.6)		非給気ファン (FE)	FE-1	運転・停止	(22.0)			
		FS-2	運転・停止	(7.0)			FE-2	運転・停止	(7.0)			
		FS-3	運転・停止	(15.6)			FE-3	運転・停止	(6.6)			
		FS-4	運転・停止	(7.0)			FE-4	運転・停止	(3.6)			
		FS-5	運転・停止	(-)			FE-5	運転・停止	(-)			
	※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1,No.2両方に○をつけること。											
	特記事項											

日常 機器点検表 [管理棟・特高受電棟・自家発電機棟 電気設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号		(口内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み		-:停止中・実施せず		×:異常あり		○:修理・整備実施		△:経過観察中		
管理棟 電気室		室温:℃												
自家発電受電盤		低温:℃		低圧電灯盤				低圧動力盤						
受電電圧	V			電圧	V			電圧	V					
受電電流	A			電流	A			電流	A					
受電電力	kW			電力量	kWh(×10)			電力量	kWh(×10)					
力率	%			無停電電源装置(UPS)				直流電源装置						
電力量	kWh(×100)			蓄電池盤		盤No.	CV01	直流器盤		盤No.	GB01			
高圧受電盤		交流入力電圧		V			直流出力電圧・電流		V	A				
受電電圧	V			交流入力電流		A	蓄電池電圧・電流		V	A				
受電電流	A			出力電圧		V								
受電電力	kW			出力電流		A								
力率	%			停電回数		回								
電力量	kWh(×100)													
特高受電棟 電気室		室温:℃		空調機 運転		空調機 異常		室外機 異常						
		℃		運転・停止										
特高・自家発電設備コントロール		盤No.		BA01		No.1受電		No.2受電						
受電電力	kW			電圧	kV			電圧	kV					
受電電流	A	R		電流	A			電流	A					
		S		電力	kW			電力	kW					
		T		力率	%			力率	%					
A系水処理		管理棟		B系水処理										
電流	A			電流	A			電流	A					
電力	kW			電力	kW			電力	kW					
直流電源装置		特高取引用計量盤		UPS										
直流器盤		盤No.	BB01	特高電力計(全日電力型)		kWh			LCD表示確認					
直流出力電圧・電流		V	A	最大電力計(最大電力型)		kW(×100)								
蓄電池電圧・電流		V	A											
自家発電設備 電気室		室温:℃		直流電源装置		主変圧器		盤No.	FL01	No.1自家発電機				
		℃		直流器盤		盤No.	FB01	電圧	V	電力量		kWh(×100)		
				直流出力電圧・電流		V	A	電流	A	運転時間		h		
				蓄電池電圧・電流		V	A	変圧器温度	℃	液漏れ				
				低圧分岐		盤No.	FL02	受電		盤No.	FM01	No.2自家発電機		
1N		V						切 入		電力量		kWh(×100)		
		A						盤故障表示		運転時間		h		
2N		V						自家発電機操作モード		液漏れ				
		A						No.1		遠方		現場		
12		V						No.2		自動		手動		
		A								遠方		現場		
										自動		手動		
自家発電設備CC		盤No.		FC01F										
電圧・電流	V	A												
冷却槽		始動空気槽												
水位確認		段		No.1										
A重油レベル計交換器(地下貯油槽)		予備		MPa										
貯油量		kL	①	No.2										
			②	エア一漏れ										
燃料小出槽		エアドライヤー												
液量	L(700~1250)			露点温度		℃								
油漏れ	-													
A重油メーター	L													
特記事項		1. 冷却水槽水位は梯子の1~2段目の間に有れば良、3段目になったら報告 2. 燃料小出槽 H:1560L L:780L												

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[主流入ゲート棟]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号 (□内に記入する事) レ:異常なし・実施済み -:停止中・実施せず ×:異常あり ○:修理・整備実施 △:経過観察中

IF	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認
主流入ゲート	No.1	現場・遠方	%	
	No.2	現場・遠方	%	

IF	外部受入装置	操作モード	外部受入								
外部連動	外部連動	現場・遠方	沈砂・汚泥								
		現場・遠方	沈砂・汚泥								
切出コンベヤ	切出コンベヤ	操作モード	電流値:A	スクリーン変形	チェーン張り	グリース漏れ	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
		単独・連動	(20.5)								
粗ゴミスクリーン	粗ゴミスクリーン	操作モード	電流値:A	スクリーン詰まり	Vベルト張り	グリース漏れ	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度		
		単独・連動	(21.0)								
受入沈砂移送ポンプ 吐出弁	受入沈砂移送ポンプ 吐出弁	操作モード	噴射出口圧力	噴射入口圧力	異音・振動						
		単独・連動	Mpa	Mpa							
粗ゴミ排出機	粗ゴミ排出機	操作モード	電流値:A	ベルト変形・張り	ローラ・板巻・割れ	チェーン張り	油面・漏れ	グリース漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
		単独・連動	(4.74)								

沈砂池排砂室・機出入室 GP-1-1	操作モード	電流値:A	異常確認	換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン(FS)	FS-1	運転・停止	(7.0)	排気ファン(FE)	FE-1	運転・停止	(7.0)

外部受入汚泥・沈砂	受入時間		受入重量	
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³
	: ~ :	: ~ :	kg	m ³

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

日常 機器点検表

[最初沈殿池設備]

平成 年 月 日 () [: : ~ : :]

項目別判定記号 (□内に記入する事) レ:異常なし・実施済み -:停止中・実施せず ×:異常あり ○:修理・整備実施 △:経過観察中

B1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認
初沈主流入ゲート	No.1-1	現場・遠方	%	
	No.1-2	現場・遠方	%	
1系初沈バイパスゲート		現場・遠方	%	

B1F	ゲート設備	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%
初沈流入ゲート	No.1-1-1	上段	%	No.1-2-1	上段	%	No.1-3-1	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%
	No.1-1-2	上段	%	No.1-2-2	上段	%	No.1-3-2	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%

B1F	汚泥掻き設備	操作モード	電流値:A	チェーン張り	油面:濡れ	異音:振動	軸受温度	ランプ確認
初沈汚泥掻き機	No.1-1	上段	(3.5)					
		下段	(3.5)					
	No.1-2	上段	(3.5)					
		下段	(3.5)					
	No.1-3	上段	(3.5)					
		下段	(3.5)					
	No.1-4	上段	(3.5)					
		下段	(3.5)					

B1F	スカム除去設備	操作モード	スカム堆積	異音:振動	ランプ確認	B1F	スカム除去設備	操作モード	スカム堆積	異音:振動	ランプ確認
初沈スカムスクレーパー	No.1-1	上段	現場・遠方	有・無		初沈スカムスクレーパー	No.1-3	上段	現場・遠方	有・無	
		下段	現場・遠方	有・無				下段	現場・遠方	有・無	
	No.1-2	上段	現場・遠方	有・無			No.1-4	上段	現場・遠方	有・無	
		下段	現場・遠方	有・無				下段	現場・遠方	有・無	

B1F	スカム除去設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	異音:振動	ランプ確認
初沈スカム移送ポンプ	No.1-1	現場・遠方	(19.0)	MPa		
	No.1-2	現場・遠方	(19.0)	MPa		
	No.2-1	現場・遠方	(19.0)	MPa		
	No.2-2	現場・遠方	(19.0)	MPa		

B1F 1系初沈汚泥掻き機(下段)チェーン破断 検出装置制御盤 ランプ確認

B1F	脱臭設備	操作モード	電流値:A	Vベルト張り	グリース濡れ	異音:振動	臭気	水封確認	ランプ確認
1系初沈脱臭ファン	手動・自動		(22.2)						
		脱臭ファン	圧力損失	脱臭塔	圧力損失				
			kPa		kPa				

B2F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部濡れ	油面:濡れ	異音:振動:温度	濃度:%	流量:m ³ /h	ランプ確認
生汚泥ポンプ	No.1-1	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h	
	No.1-2	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h	
	No.1-3	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h	
	No.1-4	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h	

B2F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ
生汚泥引抜き	No.1-1-1	現場・遠方	全開・全閉		生汚泥引抜き	No.1-3-1	現場・遠方	全開・全閉
	No.1-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-3-2	現場・遠方	全開・全閉
	No.1-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-4-1	現場・遠方	全開・全閉
	No.1-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-4-2	現場・遠方	全開・全閉

B2F 汚泥ポンプ設備 操作モード 電流値:A 圧力:MPa Vベルト張り 軸封部濡れ 油面:濡れ 異音:振動 軸受温度 ランプ確認

1系初沈池排水ポンプ 運転・停止 (22.0) MPa

B2F 共通設備 操作モード 電流値:A 吐出圧力:kPa 吸入圧力:kPa Vベルト張り 油面:濡れ 異音:振動 軸受温度 ランプ確認

1系水路曝気用ブロブ 手動・自動 (15.0) kPa kPa

B2F 共通設備 操作モード 電流値:A 圧力:MPa 外観異常 ランプ確認

1系初沈床排水ポンプ 手動・自動 (8.3) MPa

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。
特記事項

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[最初沈殿池設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	一:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中				
B1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認								
初沈主流入ゲート	No.2-1	現場・遠方	%									
	No.2-2	現場・遠方	%									
2系初沈ハイパスゲート		現場・遠方	%									
B1F	ゲート設備	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%			
初沈流入ゲート	No.2-1-1	上段	%	No.2-2-1	上段	%	No.2-3-1	上段	%			
		下段	%	No.2-2-1	下段	%	No.2-3-1	下段	%			
	No.2-1-2	上段	%	No.2-2-2	上段	%	No.2-3-2	上段	%			
		下段	%	No.2-2-2	下段	%	No.2-3-2	下段	%			
	2系初沈ハイパスゲート		上段	%	No.2-4-1		上段	%				
	2系初沈ハイパスゲート		下段	%	No.2-4-2		下段	%				
B1F	汚泥掻き寄せ設備	操作モード	電流値:A	チェーン張り	油面:漏れ	異音:振動	軸受温度	ランプ確認				
初沈汚泥掻き寄せ機	No.2-1	上段	(3.5)									
		下段	(3.5)									
	No.2-2	上段	(3.5)									
		下段	(3.5)									
	No.2-3	上段	(3.5)									
		下段	(3.5)									
	No.2-4	上段	(3.5)									
		下段	(3.5)									
B1F	スカム除去設備	操作モード	スカム堆積	異音:振動	ランプ確認	B1F	スカム除去設備	操作モード	スカム堆積	異音:振動	ランプ確認	
初沈スカムスクレーパー	No.2-1	上段	現場・遠方	有・無			初沈スカムスクレーパー	No.2-3	上段	現場・遠方	有・無	
		下段	現場・遠方	有・無		下段			現場・遠方	有・無		
	No.2-2	上段	現場・遠方	有・無				No.2-4	上段	現場・遠方	有・無	
		下段	現場・遠方	有・無					下段	現場・遠方	有・無	
B1F	スカム除去設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	異音:振動	ランプ確認						
初沈スカム移送ポンプ	No.3-1	現場・遠方	(19.0)	MPa								
	No.3-2	現場・遠方	(19.0)	MPa								
	No.4-1	現場・遠方	(19.0)	MPa								
	No.4-2	現場・遠方	(19.0)	MPa								
B1F	2系初沈汚泥掻き寄せ機(下段)チェーン破断 検出装置制御盤			ランプ確認								
故障表示有無												
B1F	脱臭設備	操作モード	電流値:A	Vベルト張り	クリース漏れ	異音:振動	臭気	水封確認	ランプ確認			
2系初沈脱臭ファン		手動・自動	(22.2)									
			脱臭ファン	圧力損失	脱臭塔	圧力損失						
				kPa		kPa						
B2F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面:漏れ	異音:振動:温度	濃度:%	流量:m ³ /h	ランプ確認	
生汚泥ポンプ	No.2-1	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h		
	No.2-2	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h		
	No.2-3	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h		
	No.2-4	現場・遠方	(42.0)	MPa					%	m ³ /h		
B2F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	汚泥ポンプ設備		操作モード	開度	液漏れ			
生汚泥引抜弁	No.2-1-1	現場・遠方	全開・全閉		生汚泥引抜弁	No.2-3-1	現場・遠方	全開・全閉				
	No.2-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-3-2	現場・遠方	全開・全閉				
	No.2-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-4-1	現場・遠方	全開・全閉				
	No.2-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-4-2	現場・遠方	全開・全閉				
B2F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面:漏れ	異音:振動	軸受温度	ランプ確認		
2系初沈池排水ポンプ		運転・停止	(22.0)	MPa								
B2F	共通設備	操作モード	電流値:A	吐出圧力:kPa	吸込圧力:kPa	Vベルト張り	油面:漏れ	異音:振動	軸受温度	ランプ確認		
2系水路曝気用ブロワ		手動・自動	(15.0)	kPa	kPa							
B2F	共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認						
2系初沈床排水ポンプ		手動・自動	(8.3)	MPa								
※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。												
特記事項												

日常 機器点検表

[最初沈殿池棟 電気設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号 (口内に記入する事) ◻:異常なし・実施済み ◻:停止中・実施せず ×:異常あり ○:修理・整備実施 △:経過観察中

最初沈殿池棟	室温:℃	空調機 運転	空調機 異常	室外機 異常					
電気室	℃	運転・停止							
A系動力分岐		盤No. HL13	照明変圧器		盤No. HL51	1-1系初沈設備CC		盤No. HC11F	
電圧・電流	V A		1N	V		電圧・電流	V A		
B系動力分岐		盤No. HL21		A		1-2系初沈設備CC		盤No. HC21F	
電圧・電流	V A		2N	V		電圧・電流	V A		
建築動力変圧器		盤No. HL41		A		2-1系初沈設備CC		盤No. HC31F	
電圧	V		12	V		電圧・電流	V A		
電流	A			A		2-2系初沈設備CC		盤No. HC41F	
有効電力量	kWh(×10)		有効電力量	kWh		電圧・電流	V A		

最初沈殿池棟 太陽光発電設備

太陽光パネル										
外観異常										
1系初沈パワコン(1-2-1)		盤No. HPV121								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力	kW	有・無		
1系初沈パワコン(1-1-2)		盤No. HPV112								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	有・無				
1系初沈パワコン(1-1-1)		盤No. HPV111								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力	kW	有・無		
気温	℃	日射強度		kW/m ²						
2系初沈パワコン(2-2-1)		盤No. HPV221								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力	kW	有・無		
2系初沈パワコン(2-1-2)		盤No. HPV212								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	有・無				
2系初沈パワコン(2-1-1)		盤No. HPV211								システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力	kW	有・無		

最初沈殿池棟 換気機械室

1F	換気設備	WP-1-1	操作モード	電流値(A)	異常確認	1F	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認
換気ファン (FS)	FS-1	運転・停止	(9.4)		換気ファン (FE)	FE-1	運転・停止	(9.4)		
	FS-2-1	運転・停止	(29.4)			FE-2-1	運転・停止	(29.4)		
	FS-2-2	運転・停止	(29.4)			FE-2-2	運転・停止	(29.4)		
	FS-3-1	運転・停止	(29.4)			FE-3-1	運転・停止	(29.4)		
	FS-3-2	運転・停止	(29.4)			FE-3-2	運転・停止	(29.4)		
	FS-4	運転・停止	(3.6)			FE-4	運転・停止	(3.6)		
	FS-5	運転・停止	(2.04)			FE-5	運転・停止	(2.04)		
	FS-6	運転・停止	(3.6)							
	FS-100	運転・停止	-							

1F	上水設備	操作モード	電流値(A)	圧力(吸込)MPa	圧力(吐出)MPa	積算運転時間	液漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
自動給水装置	No.1	手動・自動	(8.5)	MPa	MPa					
	No.2	手動・自動	(8.5)	MPa	MPa					

特記事項

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[沈砂池棟 電気設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(口内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中																																				
沈砂池棟 電気室	室温:℃	空調機 運転	空調機 異常	室外機 異常																																							
	℃	運転・停止																																									
A系受電	盤No. GM01	B系受電	盤No. GM02	建築動力変圧器	盤No. GL41																																						
受電電流	A	受電電流	A	電圧	V																																						
受電電圧	V	受電電圧	V	電流	A																																						
受電電力	kW	受電電力	kW	電力量	kWh																																						
力率	%	力率	%	照明変圧器	盤No. GL51																																						
A系動力変圧器一次	盤No. GM11	B系動力変圧器一次	盤No. GM21	1N	V																																						
電力量	MWh	電力量	MWh		A																																						
A系動力変圧器	盤No. GL01	B系動力変圧器	盤No. GL02	2N	V																																						
変圧器温度	℃	変圧器温度	℃		A																																						
A系動力変圧器二次	盤No. GL11	B系動力変圧器二次	盤No. GL21	12	V																																						
電圧	V	電圧	V		A																																						
電流	A	電流	A	有効電力量	kWh																																						
A系沈砂池設備CC	盤No. GC11F	B系沈砂池設備CC	盤No. GC21F	直流電源装置																																							
電圧・電流	V A	電圧・電流	V A	直流器盤	盤No. GB01																																						
沈砂しきり搬送設備CC	盤No. GC31F	外部受入設備CC	盤No. GC41F	直流出力電圧・電流	V A																																						
電圧・電流	V A	電圧・電流	V A	高電池電圧・電流	V A																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>連管</th> <th>換気設備</th> <th>BP-B1-1</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> <th>換気設備</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給気ファン(FS)</td> <td>FS-13</td> <td>運転・停止</td> <td>(1.7)</td> <td></td> <td></td> <td>排気ファン(FE)</td> <td>FE-12</td> <td>運転・停止</td> <td>(1.9)</td> </tr> </tbody> </table>								連管	換気設備	BP-B1-1	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認	給気ファン(FS)	FS-13	運転・停止	(1.7)			排気ファン(FE)	FE-12	運転・停止	(1.9)																
連管	換気設備	BP-B1-1	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認																																		
給気ファン(FS)	FS-13	運転・停止	(1.7)			排気ファン(FE)	FE-12	運転・停止	(1.9)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>1F</th> <th>搬入室A</th> <th>PP-1-1</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> <th>換気設備</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給気ファン(FS)</td> <td>FS-8</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> <td></td> <td></td> <td>排気ファン(FE)</td> <td>FE-8</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> </tr> </tbody> </table>								1F	搬入室A	PP-1-1	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認	給気ファン(FS)	FS-8	運転・停止	(-)			排気ファン(FE)	FE-8	運転・停止	(-)																
1F	搬入室A	PP-1-1	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認																																		
給気ファン(FS)	FS-8	運転・停止	(-)			排気ファン(FE)	FE-8	運転・停止	(-)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>1F</th> <th>搬入室B</th> <th>PP-1-2</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> <th>換気設備</th> <th>操作モード</th> <th>電流値(A)</th> <th>異常確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給気ファン(FS)</td> <td>FS-6</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">排気ファン(FE)</td> <td>FE-6</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td>FS-9</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> <td></td> <td></td> <td>FE-9</td> <td>運転・停止</td> <td>(-)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>FE-10</td> <td>運転・停止</td> <td>(0.7)</td> </tr> </tbody> </table>								1F	搬入室B	PP-1-2	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認	給気ファン(FS)	FS-6	運転・停止	(-)			排気ファン(FE)	FE-6	運転・停止	(-)	FS-9	運転・停止	(-)			FE-9	運転・停止	(-)						FE-10	運転・停止	(0.7)
1F	搬入室B	PP-1-2	操作モード	電流値(A)	異常確認	換気設備	操作モード	電流値(A)	異常確認																																		
給気ファン(FS)	FS-6	運転・停止	(-)			排気ファン(FE)	FE-6	運転・停止	(-)																																		
	FS-9	運転・停止	(-)				FE-9	運転・停止	(-)																																		
							FE-10	運転・停止	(0.7)																																		
沈砂池棟 太陽光電気室	室温:℃																																										
沈砂池棟 太陽光発電設備																																											
太陽光パネル																																											
外観異常																																											
沈砂池パワコン(1)	盤No. GPV01	システム監視画面異常																																									
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力	kW																																				
有・無																																											
特記事項																																											

日常 機器点検表

[主ポンプ設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号		(口内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中			
1F	ポンプ井	操作モード	開度%	ランプ確認	1F	調圧水槽	操作モード	開度%	ランプ確認		
ポンプ井流入ゲート	No.1	現場・遠方	%		調圧水槽流出可動堰	No.1	現場・遠方	%			
	No.2	現場・遠方	%			No.2	現場・遠方	%			
ポンプ井連絡ゲート		現場・遠方	%		調圧水槽バイパス可動堰		現場・遠方	%			
緊急放流ゲート		現場・遠方	%								
簡易放流ゲート		現場・遠方	%								
1F	ポンプ設備	操作モード	電流値:A	吐出弁開度%	回転数%	ポンプ井水位	流量:m ³ /h	始動制御装置	オイル漏れ	異音・振動	ランプ確認
汚水ポンプ用電動機 電動吐出弁 緩衝装置付逆止弁 始動制御装置	No.1	現場・遠方	(55.0)	%	%	TPm	×10 m ³ /h	-			
	No.2	現場・遠方	(55.0)	%	-						
	No.3	現場・遠方	(55.0)	%	-						
	No.4	現場・遠方	(55.0)	%	%					-	
	No.5	現場・遠方	(55.0)	%	-						
	No.6	現場・遠方	(55.0)	%	-						
B1F	ポンプ設備	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動							
中間軸受	No.1										
	No.2										
	No.3										
	No.4										
	No.5										
	No.6										
B2F	ポンプ設備	圧力:MPa	軸受温度	逆止弁	逆止弁チェック	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動			
汚水ポンプ	No.1	MPa	℃	%							
	No.2	MPa	℃	%							
	No.3	MPa	℃	%							
	No.4	MPa	℃	%							
	No.5	MPa	℃	%							
	No.6	MPa	℃	%							
B2F	共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認					
ポンプ室 床排水ポンプ	No.1	手動・自動	(5.0)	MPa							
	No.2	手動・自動	(5.0)	MPa							
B3F	共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認					
ポンプ井排水ポンプ		運転・停止	(42.5)	MPa							
B3F	共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認					
排水ポンプ室 床排水ポンプ	No.1		(12.1)	MPa							
	No.2	手動・自動	(12.1)	MPa							
1F	電動機室	1F	水質監視室								
温度	℃	温度	℃								
湿度	%	湿度	%								

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

* 1F電動機室、水質監視室、温度・湿度の測定は5月～10月の期間実施する。

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[送風機設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	一:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中		
1F 送風機設備	単位	限度値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
周囲温度	℃	MAX.40						
電流値(S相)	A	-						
吸込風量	m ³ /min	-						
吸込空気圧力	kPa	-						
吸込空気温度	℃	MAX.40						
吐出空気圧力	kPa	-						
吐出空気温度	℃	MAX.130						
回転速度	min-1	-						
インレットベーン開度	%	-						
放風弁開度	%	-						
入力電力	kW	-						
空調装置 吸込温度	℃	MAX.35						
コンパーク温度	℃	MAX.105						
インバーク0温度	℃	MAX.105						
インバーク1温度	℃	MAX.105						
磁気軸制御装置(MBC)温度	℃	MAX.80						
ラジアル最大変位(ラジアル DE)	μm	MAX.60						
ラジアル最大変位(ラジアル NDE)	μm	MAX.60						
スラスト変位(スラスト DE)	μm	MAX.110						
高速電動機温度 DE	℃	MAX.170						
高速電動機温度 NDE	℃	MAX.170						
入力フィルタ温度	℃	MAX.145						
出力フィルタ温度	℃	MAX.145						
電動吐出弁開度	%	-						

B2F 空ろろ過設備	潤滑状態	巻取状態	圧力損失
乾式フィルタ	No.1	-	良・否 Pa
	No.2	-	良・否 Pa
湿式フィルタ	No.1	良・否	-
	No.2	良・否	-

1F 送風機室	
温度	℃
湿度	%

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1,No.2両方に○をつけること。

特記事項

* 1F送風機室、温度・湿度の測定は5月～10月の期間実施する。

日常 機器点検表

[ポンプ送風機棟 電気設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号	(口内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
ポンプ送風機棟1F 低圧電気室	室温:℃	空調機:運転	空調機:異常	室外機:異常			
A系受電	盤No. KM01	B系受電	盤No. KM02	無停電電源装置(UPS)			
受電電流	A	受電電流	A	蓄電池盤			
受電電圧	V	受電電圧	V	V	A	Hz	
A系送風機設備CC	盤No. LC11F	B系送風機設備CC	盤No. LC21F	出力1			
電圧・電流	V A	電圧・電流	V A	出力2			
A系汚水ポンプ設備CC	盤No. KC11F	B系汚水ポンプ設備CC	盤No. KC21F	共通系汚水ポンプ設備CC			
電圧・電流	V A	電圧・電流	V A	電圧・電流	V A		
No.1汚水ポンプインバータ制御	盤No. KHV13	No.4汚水ポンプインバータ制御	盤No. KHV43				
変圧器温度	℃	変圧器温度	℃				
ポンプ送風機棟2F 高圧電気室	室温:℃	空調機:運転	空調機:異常	室外機:異常			
A系自家発電	盤No. EM03	B系受電	盤No. EM02	B系動力変圧器			
受電電流	A	受電電流	A	変圧器温度			
受電電圧	V	受電電圧	V	建築動力変圧器			
A系動力変圧器一次	盤No. EM13	多電電力	MW	変圧器温度			
電流	A	効率	%	建築動力変圧器二次			
電力	kW	B系高圧コンデンサー一次	盤No. EM24	受電電圧			
電力量	MWh	電流	A	受電電流			
効率	%	B系動力変圧器一次	盤No. EM23	電力量			
A系高圧コンデンサー一次	盤No. EM14	電流	A	照明変圧器			
電流	A	電力	kW	1N			
A系受電	盤No. EM01	電力量	MWh	2N			
受電電流	A	効率	%	12			
受電電圧	V	B系自家発電	盤No. EM04	V			
受電電力	MW	受電電流	A	A			
効率	%	受電電圧	V	A			
建築動力変圧器一次	盤No. EM31	A系動力変圧器	盤No. EL01	電力量			
電流	A	変圧器温度	℃	直流電源装置			
電力	kW	A系動力変圧器二次	盤No. EL11	直流器盤			
電力量	MWh	電圧	V	直流出力電圧・電流			
効率	%	電流	A	蓄電池電圧・電流			
照明変圧器一次	盤No. EM32	B系動力変圧器二次	盤No. EL21	V	A		
電流	A	電圧	V	V	A		
電力	kW	電流	A				
電力量	MWh						
A系No.1コンデンサ	盤No. EH11	B系No.1コンデンサ	盤No. EH21				
電源	切 入	電源	切 入				
A系No.2コンデンサ	盤No. EH12	B系No.2コンデンサ	盤No. EH22				
電源	切 入	電源	切 入				
A系No.3コンデンサ	盤No. EH13	B系No.3コンデンサ	盤No. EH23				
電源	切 入	電源	切 入				
A系No.4コンデンサ	盤No. EH14	B系No.4コンデンサ	盤No. EH24				
電源	切 入	電源	切 入				
特記事項							

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[ポンプ送風機棟 電気設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	ー:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中	
1F	電気室BP-1-1	操作モード	電流値:A	異常確認		換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン (FS)	FS-5	運転・停止	(0.9)		排気ファン (FE)	FE-5	運転・停止	(0.9)	
	FS-6	運転・停止	(0.9)			FE-6	運転・停止	(0.9)	
						FE-13	運転・停止	(0.6)	
1F	換気機械室A BP-1-2	操作モード	電流値:A	異常確認		換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン (FS)	FS-7	運転・停止	(-)		排気ファン (FE)	FE-1A	運転・停止	(22.0)	
	FS-8	運転・停止	(-)			FE-2	運転・停止	(29.4)	
						FE-7	運転・停止	(-)	
						FE-8	運転・停止	(-)	
2F	換気機械室D BP-2-3	操作モード	電流値:A	異常確認		換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン (FS)	FS-11	運転・停止	(-)		排気ファン (FE)	FE-3	運転・停止	(15.6)	
						FE-4	運転・停止	(22.0)	
						FE-11	運転・停止	(-)	
2F	換気機械室C BP-2-2	操作モード	電流値:A	異常確認		換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン (FS)	FS-1	運転・停止	(22.0)		排気ファン (FE)	FE-10	運転・停止	(1.1)	
	FS-10	運転・停止	(1.1)						
2F	換気機械室B BP-2-1	操作モード	電流値:A	異常確認		換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン (FS)	FS-2	運転・停止	(29.4)		排気ファン (FE)	FE-9	運転・停止	(-)	
	FS-3	運転・停止	(22.0)						
	FS-4	運転・停止	(44.0)						
	FS-9	運転・停止	(-)						
	FS-12	運転・停止	(2.04)						

特記事項

※BP-2-1 FS-4(給気ファン)、並びにBP-2-3 FE-4(排気ファン)タイマー運転中です。

日常 機器点検表

[反応タンク設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(□内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	一:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中			
1F	ゲート設備	開度%	1F	監視設備	濃度				
分配槽流出可動堰	No.1-1	%	1系反応タンク 入口SS計		mg/l				
	No.1-2	%							
	No.1-3	%	1F	監視設備	濃度				
	No.1-4	%	1系反応タンク 入口COD(UV)計		mg/l				
	No.1-5	%							
	No.1-6	%							
	No.1-7	%							
	No.1-8	%							
1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認	1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認
反応タンク流入可動堰	No.1-1	現場・遠方	%		ステップ流入可動堰	No.1-1	現場・遠方	%	
	No.1-2	現場・遠方	%			No.1-2	現場・遠方	%	
	No.1-3	現場・遠方	%			No.1-3	現場・遠方	%	
	No.1-4	現場・遠方	%			No.1-4	現場・遠方	%	
	No.1-5	現場・遠方	%			No.1-5	現場・遠方	%	
	No.1-6	現場・遠方	%			No.1-6	現場・遠方	%	
	No.1-7	現場・遠方	%			No.1-7	現場・遠方	%	
	No.1-8	現場・遠方	%			No.1-8	現場・遠方	%	
1F	撹拌・散気設備	操作モード	電流値:A	撹拌状況	散気状況	油面・漏れ	異音・振動	ランプ確認	
反応タンク撹拌機 散気装置	No.1-1	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-2	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-3	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-4	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-5	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-6	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-7	現場・遠方	(10.5)						
	No.1-8	現場・遠方	(10.5)						
反応タンク 監視設備		A槽ORP:mV	B槽MLSS	B槽DO	B槽pH	D槽DO	D槽MLSS	D槽DO	
	No.1-1	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.1-2 mg/l	
	No.1-3	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.1-4 mg/l	
	No.1-5	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.1-6 mg/l	
	No.1-7	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.1-8 mg/l	
B1F	配管弁設備	操作モード	開度%	風量 m ³ /min	油面・漏れ	異音・振動	ランプ確認		
風量調節弁	No.1-1	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-2	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-3	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-4	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-5	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-6	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-7	現場・遠方	%	m ³ /min					
	No.1-8	現場・遠方	%	m ³ /min					
B1F	配管弁設備	操作モード	圧抜弁	送気遮断弁	シーケンサ確認	ランプ確認			
散気装置 ブローダウン笠	No.1-1	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-2	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-3	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-4	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-5	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-6	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-7	手動・自動	開・閉	開・閉					
	No.1-8	手動・自動	開・閉	開・閉					
B2F	共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	ピストン堆積物	ランプ確認			
1系反応タンク 床排水ポンプ	No.1	手動・自動	(12.1)	MPa					
	No.2	手動・自動	(12.1)	MPa					
反応タンク管底排水ポンプ	手動・自動	(12.6)	MPa						
※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1.No.2両方に○をつけること。									

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[反応タンク設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号 (□内に記入する事) レ:異常なし・実施済み -:停止中・実施せず ×:異常あり ○:修理・整備実施 △:経過観察中

1F	ゲート設備	開度%	1F	監視設備	濃度
分配槽流出可動堰	No.2-1	%	2系反応タンク 入口SS計		mg/l
	No.2-2	%			
	No.2-3	%	1F	監視設備	濃度
	No.2-4	%	2系反応タンク 入口COD(UV)計		mg/l
	No.2-5	%			
	No.2-6	%			
	No.2-7	%			
	No.2-8	%			

1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認	1F	ゲート設備	操作モード	開度%	ランプ確認
反応タンク流入可動堰	No.2-1	現場・遠方	%		ステップ流入可動堰	No.2-1	現場・遠方	%	
	No.2-2	現場・遠方	%			No.2-2	現場・遠方	%	
	No.2-3	現場・遠方	%			No.2-3	現場・遠方	%	
	No.2-4	現場・遠方	%			No.2-4	現場・遠方	%	
	No.2-5	現場・遠方	%			No.2-5	現場・遠方	%	
	No.2-6	現場・遠方	%			No.2-6	現場・遠方	%	
	No.2-7	現場・遠方	%			No.2-7	現場・遠方	%	
	No.2-8	現場・遠方	%			No.2-8	現場・遠方	%	

1F	搅拌・散気設備	操作モード	電流値(A)	搅拌状況	散気状況	油面・漏れ	異音・振動	結露水有無	ランプ確認
反応タンク用搅拌機 散気装置	No.2-1	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-2	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-3	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-4	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-5	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-6	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-7	現場・遠方	(10.5)					有・無	
	No.2-8	現場・遠方	(10.5)					有・無	

反応タンク 監視設備		A槽ORP:mV	B槽MLSS	B槽DO	B槽pH	D槽DO	D槽MLSS	D槽DO
No.2-1	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.2-2	mg/l
No.2-3	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.2-4	mg/l
No.2-5	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.2-6	mg/l
No.2-7	mV	mg/l	mg/l		mg/l	mg/l	No.2-8	mg/l

B1F	配管弁設備	操作モード	開度%	風量m³/min	油面・漏れ	異音・振動	ランプ確認
風量調節弁	No.2-1	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-2	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-3	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-4	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-5	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-6	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-7	現場・遠方	%	m³/min			
	No.2-8	現場・遠方	%	m³/min			

B2F	共通設備	操作モード	電流値(A)	圧力(MPa)	ピット堆積物	ランプ確認
2系反応タンク 床排水ポンプ	No.1	手動・自動	(12.1)	MPa		
	No.2	手動・自動	(12.1)	MPa		

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

・ステップ流入可動堰は雨天時のみ点検

日常 機器点検表

[最終沈殿池設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(□内に記入する事)	レ: 異常なし・実施済み	-: 停止中・実施せず	×: 異常あり	○: 修理・整備実施	△: 経過観察中
---------	------------	--------------	-------------	---------	------------	----------

1F	汚泥掻き設備	操作種別	電流値(A)	チェーン張り	油面・濡れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認
終沈汚泥掻き機	No.1-1	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-2	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-3	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-4	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-5	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-6	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-7	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					
	No.1-8	上段	(1.1)					
		下段	(1.1)					

1F 1系終沈汚泥掻き機(下段)チェーン破断・検出装置制御盤
故障表示有無

1F	ゲート設備	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%
終沈流入可動堰	No.1-1-1	上段	%	No.1-3-1	上段	%	No.1-5-1	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%
	No.1-1-2	上段	%	No.1-3-2	上段	%	No.1-5-2	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%
	No.1-2-1	上段	%	No.1-4-1	上段	%	No.1-6-1	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%
	No.1-2-2	上段	%	No.1-4-2	上段	%	No.1-6-2	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%

1F	スカム除去設備	操作種別	スカム堆積	1F	スカム除去設備	操作種別	スカム堆積	ランプ確認	1F	監視設備	濃度
終沈スカムスキヤ(上段)	No.1-1	現場・遠方	有・無	終沈スカムスキヤ(下段)	No.1-1	現場・遠方	有・無			1系終沈SS計	mg/l
		現場・遠方	有・無			No.1-2	現場・遠方				
	現場・遠方	有・無	No.1-3		現場・遠方		有・無				
	現場・遠方	有・無			No.1-4	現場・遠方	有・無				
	現場・遠方	有・無	No.1-5			現場・遠方	有・無				
	現場・遠方	有・無			No.1-6	現場・遠方	有・無				
	現場・遠方	有・無	No.1-7			現場・遠方	有・無				
	現場・遠方	有・無			No.1-8	現場・遠方	有・無				

1F	スカム除去設備	操作種別	電流値(A)	圧力(MPa)	異音・振動	ランプ確認
終沈スカム移送ポンプ	No.1-1	現場・遠方	(17.0)	MPa		
		現場・遠方	(17.0)	MPa		
	No.2-1	現場・遠方	(17.0)	MPa		
		現場・遠方	(17.0)	MPa		

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

日常 機器点検表

[最終沈殿池設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	一:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中					
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	回転数:%	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面:漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認		
返送汚泥ポンプ	No.1-1-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-1-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-2-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-2-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-3-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-3-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-4-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-4-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-5-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-5-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-6-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-6-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-7-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-7-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-8-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.1-8-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	返送汚泥量	流量:m ³ /h	濃度:×10mg/l	
返送汚泥引抜弁	No.1-1-1	現場・遠方	全開・全閉		返送汚泥引抜弁	No.1-5-1	現場・遠方	全開・全閉		流量計	No.1-1	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-5-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-2	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-6-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-3	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-6-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-4	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-3-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-7-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-5	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-3-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-7-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-6	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-4-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-8-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-7	m ³ /h	×10mg/l
	No.1-4-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-8-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-8	m ³ /h	×10mg/l
B3F	汚泥ポンプ設備	開度	B3F	汚泥ポンプ設備	開度								
返送汚泥切替弁 (引抜側)	No.1-1	全開・全閉	返送汚泥切替弁 (吐出側)	No.1-1	全開・全閉								
	No.1-2	全開・全閉		No.1-2	全開・全閉								
	No.1-3	全開・全閉		No.1-3	全開・全閉								
	No.1-4	全開・全閉		No.1-4	全開・全閉								
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面:漏れ	異音・振動	軸受温度	流量:m ³ /h	ランプ確認		
余剰汚泥ポンプ	No.1-1	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.1-2	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.1-3	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.1-4	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ				
余剰汚泥引抜弁	No.1-1-1	現場・遠方	全開・全閉		余剰汚泥引抜弁	No.1-5-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-5-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-6-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-6-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-3-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-7-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-3-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-7-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-4-1	現場・遠方	全開・全閉			No.1-8-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.1-4-2	現場・遠方	全開・全閉			No.1-8-2	現場・遠方	全開・全閉					
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認							
1系終沈No.1床排水ポンプ		手動・自動	(8.3)	MPa									
1系終沈No.2床排水ポンプ		手動・自動	(8.3)	MPa									
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面:漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認			
1系終沈池排水ポンプ		停止・運転	(7.2)	MPa									

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[最終沈殿池設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(口内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	ニ:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中				
1F	汚泥掻き設備	操作	電流値(A)	チェーン張り	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認				
最終汚泥掻き機	No.2-1	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-2	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-3	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-4	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-5	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-6	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-7	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
	No.2-8	上段	(1.1)									
		下段	(1.1)									
1F	ゲート設備	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%	槽No.	開度%			
最終流入可動堰	No.2-1-1	上段	%	No.2-3-1	上段	%	No.2-5-1	上段	%	No.2-7-1	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%		下段	%
	No.2-1-2	上段	%	No.2-3-2	上段	%	No.2-5-2	上段	%	No.2-7-2	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%		下段	%
	No.2-2-1	上段	%	No.2-4-1	上段	%	No.2-6-1	上段	%	No.2-8-1	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%		下段	%
	No.2-2-2	上段	%	No.2-4-2	上段	%	No.2-6-2	上段	%	No.2-8-2	上段	%
		下段	%		下段	%		下段	%		下段	%
1F	スカム除去設備	操作	スカム堆積	1F	スカム除去設備	操作	スカム堆積	ランプ確認	1F	監視設備	濃度	
最終スカムスクレイ(上段)	No.2-1	現場・遠方	有・無	最終スカムスクレイ(下段)	No.2-1	現場・遠方	有・無		2系最終SS計		mg/l	
	No.2-2	現場・遠方	有・無		No.2-2	現場・遠方	有・無					
	No.2-3	現場・遠方	有・無		No.2-3	現場・遠方	有・無					
	No.2-4	現場・遠方	有・無		No.2-4	現場・遠方	有・無					
	No.2-5	現場・遠方	有・無		No.2-5	現場・遠方	有・無					
	No.2-6	現場・遠方	有・無		No.2-6	現場・遠方	有・無					
	No.2-7	現場・遠方	有・無		No.2-7	現場・遠方	有・無					
	No.2-8	現場・遠方	有・無		No.2-8	現場・遠方	有・無					
1F	スカム除去設備	操作	電流値(A)	圧力(MPa)	異音・振動	ランプ確認						
最終スカム移送ポンプ	No.3-1	現場・遠方	(17.0)	MPa								
	No.3-2	現場・遠方	(17.0)	MPa								
	No.4-1	現場・遠方	(17.0)	MPa								
	No.4-2	現場・遠方	(17.0)	MPa								
	No.5-1	現場・遠方	(17.0)	MPa								
	No.5-2	現場・遠方	(17.0)	MPa								

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[最終沈殿池設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中					
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	回転数:%	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認		
返送汚泥ポンプ	No.2-1-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-1-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-2-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-2-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-3-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-3-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-4-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-4-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-5-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-5-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-6-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-6-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-7-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-7-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-8-1	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
	No.2-8-2	現場・遠方	(28.7)	MPa	%								
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	返送汚泥量	流量:m ³ /h	濃度:×10mg/l	
返送汚泥引抜弁	No.2-1-1	現場・遠方	全開・全閉		返送汚泥引抜弁	No.2-5-1	現場・遠方	全開・全閉		流量計	No.2-1	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-5-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-2	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-6-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-3	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-6-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-4	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-3-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-7-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-5	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-3-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-7-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-6	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-4-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-8-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-7	m ³ /h	×10mg/l
	No.2-4-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-8-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-8	m ³ /h	×10mg/l
B3F	汚泥ポンプ設備	開度	B3F	汚泥ポンプ設備	開度								
返送汚泥切替弁 (引抜側)	No.2-1	全開・全閉	返送汚泥切替弁 (吐出側)	No.2-1	全開・全閉								
	No.2-2	全開・全閉		No.2-2	全開・全閉								
	No.2-3	全開・全閉		No.2-3	全開・全閉								
	No.2-4	全開・全閉		No.2-4	全開・全閉								
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	流量:m ³ /h	ランプ確認		
余剰汚泥ポンプ	No.2-1	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.2-2	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.2-3	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
	No.2-4	現場・遠方	(22.2)	MPa						m ³ /h			
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ	B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	開度	液漏れ				
余剰汚泥引抜弁	No.2-1-1	現場・遠方	全開・全閉		余剰汚泥引抜弁	No.2-5-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-1-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-5-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-2-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-6-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-2-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-6-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-3-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-7-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-3-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-7-2	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-4-1	現場・遠方	全開・全閉			No.2-8-1	現場・遠方	全開・全閉					
	No.2-4-2	現場・遠方	全開・全閉			No.2-8-2	現場・遠方	全開・全閉					
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	外観異常	ランプ確認							
2系終沈No.1床排水ポンプ	手動・自動	(8.3)	MPa										
2系終沈No.2床排水ポンプ	手動・自動	(8.3)	MPa										
B3F	汚泥ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認			
2系終沈池排水ポンプ	停止・運転	(7.2)	MPa										

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

日常 機器点検表

[消毒機械室・用水設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号		(□内に記入する事)		レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中	
1F 消毒機械室	次亜塩素酸ソーダ貯留タンク	No.1	m ³	m ³		kg	消毒槽	色 臭気	
		No.2	m ³	m ³					
		No.3	m ³	m ³					
		No.4	m ³	m ³					
1F 消毒機械室	操作モード	圧力:MPa	回転数	注入量L/min	液漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	No.1	現場・遠方	MPa	%				
		No.2	現場・遠方	MPa	%				
		No.3	現場・遠方	MPa	%	L/min			
		No.4	現場・遠方	MPa	%				
B3F 用水ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	運転時間	軸封部漏れ	外観異常		圧力:MPa	
	雑用水給水ユニット	No.1	(28.5)	MPa	h m			圧力タンク	MPa
		No.2	(28.5)	MPa	h m				
	洗却剤給水ユニット	No.1	(7.6)	MPa	h m			圧力タンク	MPa
No.2		(7.6)	MPa	h m					
水処理用二次処理水給水ユニット	No.1	(21.0)	MPa	h m			圧力タンク	MPa	
	No.2	(21.0)	MPa	h m					
ろ過水用次亜重入ポンプ付属次亜貯留タンク	在庫	前日値	本日値	使用量	補充数:箱	在庫数:箱			
		L	L	L	箱	箱			
B3F 用水ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	Vベルト張り	軸封部漏れ	油面・漏れ	異音・振動	ランプ確認	
	洗淨排水ポンプ	No.1	(11.0)	MPa					
		No.2	(11.0)	MPa					
B3F 用水設備	操作モード	圧力:MPa	運転時間	水処理用次亜供給設備	湿気除去実施	Vベルト張り	外観異常		
	ろ過砂洗淨用空気圧箱機	No.1	中央・現場	MPa	h				
		No.2	中央・現場	MPa	h				
B3F 用水設備	操作モード	砂ろ過水量:m ³ /h	本体圧力	流量(下流):L/min	逆洗エア圧力	砂面確認	砂漏れ	砂ろ過水用次亜重入ポンプ	
	砂ろ過器	No.1	現場・遠方	m ³ /h	MPa	L/min	MPa		1 2
		No.2	現場・遠方	m ³ /h	MPa	L/min	MPa		
B3F 用水ポンプ設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	軸封手ゴム摩耗	軸封部漏れ	異音・振動	軸受温度	ランプ確認	
	ろ過原水ポンプ	No.1	現場・遠方	(4.3)	MPa				
		No.2	現場・遠方	(4.3)	MPa				
		No.3	現場・遠方	(4.3)	MPa				
	初沈スカム集水ポンプ	現場・遠方	(4.2)	MPa					
	終沈スカム集水ポンプ	現場・遠方	(4.2)	MPa					
	沈砂池用二次処理水給水ポンプ	No.1	現場・遠方	(84.0)	MPa				
		No.2	現場・遠方	(84.0)	MPa				
	洗却剤用二次処理水移送ポンプ	No.1	現場・遠方	(58.0)	MPa				
		No.2	現場・遠方	(58.0)	MPa				
No.3		現場・遠方	(58.0)	MPa					
B3F 用水設備	操作モード	圧力損失	運転時間	外観異常					
	砂ろ過器用オートストレーナ	No.1	単独・連動	MPa	h				
		No.2	単独・連動	MPa	h				
	初沈スカム集水用オートストレーナ	単独・連動	MPa	h					
	終沈スカム集水用オートストレーナ	単独・連動	MPa	h					
	水処理用二次処理水オートストレーナ	単独・連動	MPa	h					
B3F 用水設備	開度	圧力:MPa	水抜き確認	B3F	圧力:MPa				
	二次処理水緊急遮断弁	全開・全閉	MPa	水処理用設備空気槽	MPa				
B3F 共通設備	操作モード	電流値:A	圧力:MPa	ヒット堆積物	ランプ確認				
	水処理用水設備No.1排水ポンプ	手動・自動	(12.5)	MPa					
	水処理用水設備No.2排水ポンプ	手動・自動	(12.6)	MPa					
※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。									
特記事項									

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[消毒機械室・用水設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
---------	------------	-------------	------------	--------	-----------	---------

B2F	小水力発電設備	グリス・漏れ	異音・振動	平ベルト	外観異常	力水漏れ確認	故障表示	シーケンサ確認	ランプ確認	
	小水力発電機					有・無	有・無			
		温度:°C			電力量:kWh			周波数:Hz		電圧:V
	発電機固定子巻線		発電機電圧		×10		発電機周波数			所内変圧器二次電圧
	発電機D側軸受									
	発電機B側軸受									

POD										
B2F	小水力発電設備	有効電力:kW			電流:A			開度:%		高さ:m
	発電機有効電力		発電機電流			ファンベーン開度			貯槽水位1	
		無効電力:kvar			電圧:V			速度:min ⁻¹		高さ:m
	発電機無効電力		発電機電圧			水車速度			貯槽水位2	
		力率:cosφ			開度					
	発電機力率		入口弁開度		全閉・全開					

B2F	発電室 WPL-B2-1	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン(FS)	FS-12	運転・停止	(1.2)	

※ 運転号機が選択できる場合は、選択号機No.に○をつけること。自動交互の場合は、No.1, No.2両方に○をつけること。

特記事項

日常 機器点検表

[最終沈殿池棟 電気設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中	
1系最終沈殿池 高圧電気室	室温:℃	空調機 運転	空調機 異常	室外機 異常			
	℃	運転・停止					
A系受電	盤No. MM01	B系受電	盤No. MM02	建築動力変圧器	盤No. ML41		
受電電流	A	受電電流	A	電圧	V		
受電電圧	V	受電電圧	V	電流	A		
受電電力	kW	受電電力	kW	電力量	kWh		
力率	%	力率	%	照明変圧器	盤No. ML51		
A系動力変圧器一次	盤No. MM11	B系動力変圧器一次	盤No. MM21	1N	V		
電力量	MWh	電力量	MWh		A		
A系動力変圧器	盤No. ML01	B系動力変圧器	盤No. ML02		V		
変圧器温度	℃	変圧器温度	℃	2N	A		
A系動力変圧器二次	盤No. ML11	B系動力変圧器二次	盤No. ML21	12	V		
受電電圧	V	電圧	V		A		
受電電流	A	電流	A		電力量	kWh	
整流器盤	盤No. MV02	インバーター盤	盤No. MV03	小水力発電用UPS			
直流出力電圧・電流	V A	交流出力電圧・電流	V A	LOD表示確認			
蓄電池電圧・電流	V A	出力周波数	Hz				
最終沈殿池棟 太陽光発電設備							
太陽光パネル							
外観異常							
1系最終沈パワコン(1-1)	盤No. MPV11					システム監視画面異常	
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力 kW 有・無	
1系最終沈殿池高圧電気室 WP-1-3							
操作モード	電流値:A	異常確認	換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認	
給気ファン(FS) FS-8	運転・停止	(1.7)	排気ファン(FE) FE-8	運転・停止	(1.9)		
1系最終沈殿池 低圧電気室							
室温:℃	空調機 運転	空調機 異常	室外機 異常				
℃	運転・停止						
1-4系反応タンク終沈設備CC	盤No. MC41F	No.1-1-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV01	No.1-5-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV09		
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr		
1-3系反応タンク終沈設備CC	盤No. MC31F	No.1-1-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV02	No.1-5-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV10		
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr		
1-2系反応タンク終沈設備CC	盤No. MC21F	No.1-2-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV03	No.1-6-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV11		
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr		
1-1系反応タンク終沈設備CC	盤No. MC11F	No.1-2-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV04	No.1-6-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV12		
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr		
		No.1-3-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV05	No.1-7-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV13		
		運転時間	hr	運転時間	hr		
		No.1-3-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV06	No.1-7-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV14		
		運転時間	hr	運転時間	hr		
		No.1-4-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV07	No.1-8-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV15		
		運転時間	hr	運転時間	hr		
		No.1-4-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV08	No.1-8-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. MLV16		
		運転時間	hr	運転時間	hr		
1系最終沈殿池低圧電気室 WP-1-2							
操作モード	電流値:A	異常確認	換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認	
給気ファン (FS)	FS-7①	運転・停止	(1.7)	排気ファン(FE)	FE-7	運転・停止	(1.8)
	FS-7②	運転・停止	(1.8)		RFE-2-1	運転・停止	(6.6)
	RFS-2-1	運転・停止	(11.0)		RFE-2-2	運転・停止	(6.6)
	RFS-2-2	運転・停止	(11.0)				
	RFS-3-1	運転・停止	(11.0)				
	RFS-3-2	運転・停止	(11.0)				
特記事項							

日常 機器点検表

[最終沈殿池棟 電気設備]

平成 年 月 日 () [: ~ :]

項目別判定記号	(□内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
2系最終沈殿池 高圧電気室	室温:℃ 空調機 運転 空調機 異常 室外機 異常					
A系受電	盤No. NM01	B系受電	盤No. NM02	建築動力変圧器	盤No. NL41	
受電電流	A	受電電流	A	電圧	V	
受電電圧	V	受電電圧	V	電流	A	
受電電力	kW	受電電力	kW	電力量	kWh	
力率	%	力率	%	照明変圧器	盤No. NL51	
A系動力変圧器一次	盤No. NM11	B系動力変圧器一次	盤No. NM21	1N	V	
電力量	MWh	電力量	MWh		A	
A系動力変圧器	盤No. NL01	B系動力変圧器	盤No. NL02	2N	V	
変圧器温度	℃	変圧器温度	℃		A	
A系動力変圧器二次	盤No. NL11	B系動力変圧器二次	盤No. NL21	12	V	
受電電圧	V	電圧	V		A	
受電電流	A	電流	A	電力量	kWh	
整流器盤	盤No. NV02	インバーター盤	盤No. NV03			
直流出力電圧・電流	V A	交流出力電圧・電流	V A			
蓄電池電圧・電流	V A	出力周波数	Hz			
最終沈殿池棟 太陽光発電設備						
太陽光パネル						
外観異常						
2系最終沈パワコン(2=1)	盤No. NPV21					システム監視画面異常
DC電力	kW	DC電圧	V	DC電流	A	AC電力 kW 有・無
2系最終沈殿池高圧電気室 WP-1-5						
操作モード	電流値:A	異常確認	換気設備	操作モード	電流値:A	異常確認
給気ファン(FS) FS-9	運転・停止 (3.5)		排気ファン(FE) FE-9	運転・停止 (1.6)		
2系最終沈殿池 低圧電気室	室温:℃ 空調機 運転 空調機 異常 室外機 異常					
A系次亜塩素酸設備CC	盤No. PC11F	No.2-1-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV01	No.2-5-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV09	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
B系次亜塩素酸設備CC	盤No. PC21F	No.2-1-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV02	No.2-5-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV10	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
A系水処理用水設備CC	盤No. QC11F	No.2-2-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV03	No.2-6-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV11	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
B系水処理用水設備CC	盤No. QC21F	No.2-2-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV04	No.2-6-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV12	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
共通系水処理用水設備CC	盤No. QC31F	No.2-3-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV05	No.2-7-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV13	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
2-4系反応タンク終沈設備CC	盤No. NC41F	No.2-3-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV06	No.2-7-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV14	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
2-3系反応タンク終沈設備CC	盤No. NC31F	No.2-4-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV07	No.2-8-1返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV15	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
2-2系反応タンク終沈設備CC	盤No. NC21F	No.2-4-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV08	No.2-8-2返送汚泥ポンプインバータ	盤No. NLV16	
電圧・電流	V A	運転時間	hr	運転時間	hr	
2-1系反応タンク終沈設備CC	盤No. NC11F					
電圧・電流	V A					
特記事項						

南蒲生浄化センター

日常 機器点検表

[最終沈殿池棟 電気設備]

平成 年 月 日 ()

項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	一:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
---------	------------	-------------	------------	--------	-----------	---------

2系最終沈殿池低圧電気室(VF-1)-4		操作モード	電流値(A)	異常確認
給気ファン (RS)	FS-10①	運転・停止	(1.9)	
	FS-10②	運転・停止	(1.7)	
	FS-11	運転・停止	(0.9)	
	RFS-1-1	運転・停止	(10.0)	
	RFS-1-2	運転・停止	(10.0)	
換気設備		操作モード	電流値(A)	異常確認
排気ファン (FE)	FE-10	運転・停止	(3.3)	
	FE-11	運転・停止	(0.9)	
	RFE-1-1	運転・停止	(6.5)	
	RFE-1-2	運転・停止	(6.5)	
	RFE-3-1	運転・停止	(6.5)	
	RFE-3-2	運転・停止	(6.5)	
	RFE-4-1	運転・停止	(11.0)	
	RFE-4-2	運転・停止	(11.0)	
	RFE-5	運転・停止	(3.4)	

特記事項

南蒲生浄化センター

休日 機器点検表

平成 年 月 日 () [: ~ :]

総括	点検者

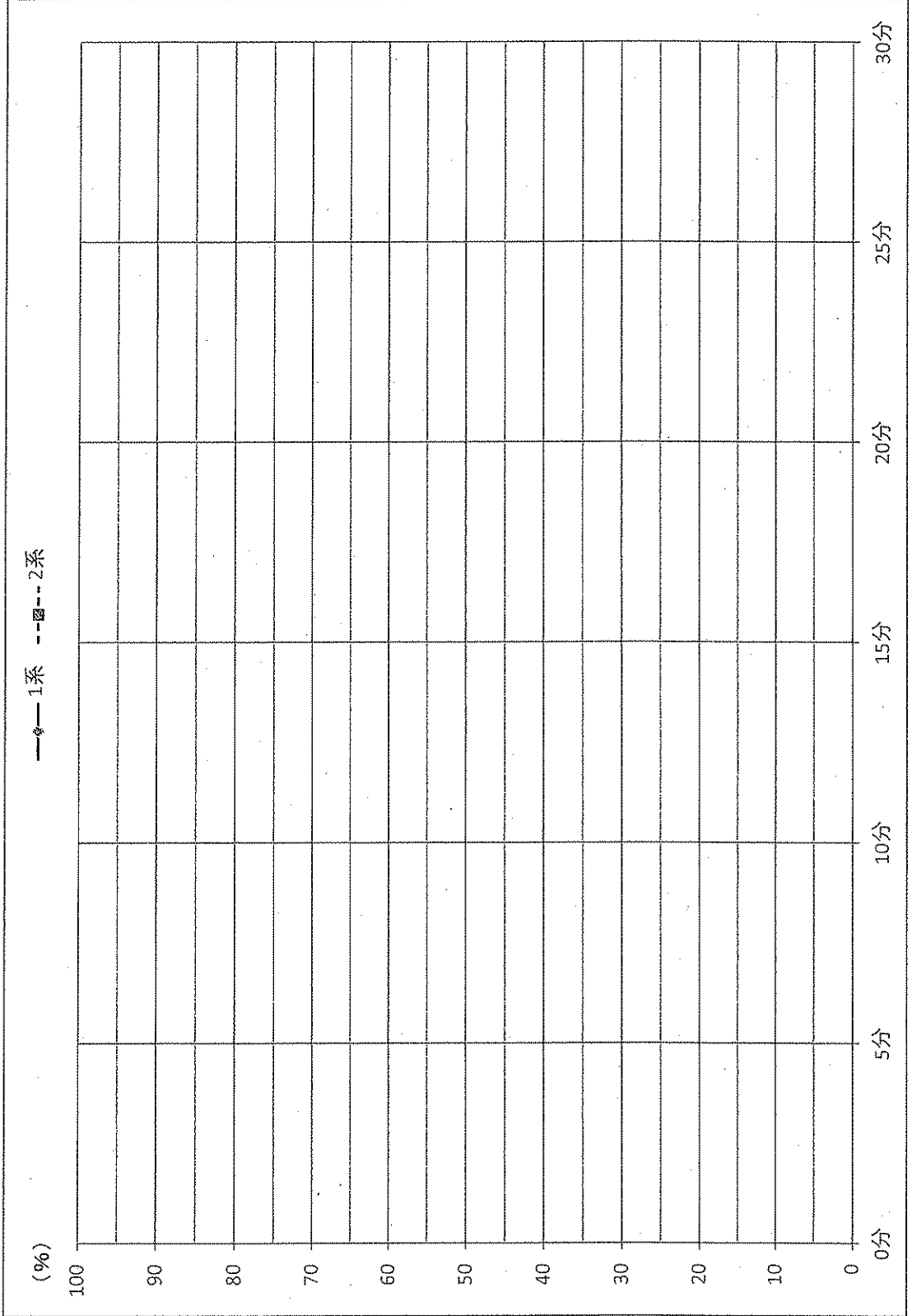
項目別判定記号	(口内に記入する事)	レ:異常なし・実施済み	-:停止中・実施せず	×:異常あり	○:修理・整備実施	△:経過観察中
---------	------------	-------------	------------	--------	-----------	---------

精密電力量計(全日電力量)		kWh		最大需要電力(最大必要電力)		kW(×100)		着水井		消毒槽	
水道(100A)		m ³		水道(20A)		m ³		検針時間		自家発電機稼働モード	
1F	送風機設備	単位	限度値	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.1	遠方・現場
	周囲温度	℃	MAX.40								自動・手動
	電流値(S相)	A	-							No.2	遠方・現場
	吸込風量	m ³ /min	-								自動・手動
	吸込空気圧力	kPa	-							自家発電運転時間	
	吸込空気温度	℃	MAX.40							No.1	No.2
	吐出空気圧力	kPa	-							h	h
	吐出空気温度	℃	MAX.130							A重油流量計	
	回転速度	min ⁻¹	-							L	
	インレットバーン開度	%	-							※自家発電冷却水梯子の3段目が見えたら報告。	
	放風弁開度	%	-								
	入力電力	kW	-								
	空調装置 吸込温度	℃	MAX.35							1F	電動機室
	コンバーク温度	℃	MAX.105							温度	湿度
	インバータ0温度	℃	MAX.105							1F	送風機室
	インバータ1温度	℃	MAX.105							温度	湿度
	送風機受制御装置(MBC)温度	℃	MAX.80							1F	水質監視室
	ファン最大変位(ファンL DE)	μm	MAX.60							温度	湿度
	ファン最大変位(ファンR NDE)	μm	MAX.60							※水質監視室は5月～10月のみ記録(熱中症対策の為)	
	スラスト変位(スラスト DE)	μm	MAX.110								
	高速電動機温度 DE	℃	MAX.170								
	高速電動機温度 NDE	℃	MAX.170								
	入力フィルタ温度	℃	MAX.145								
	出力フィルタ温度	℃	MAX.145								
	電動吐出弁開度	%	-								
1F	ポンプ設備	操作モード	電流値(A)	回転数%	流量:m ³ /h	圧力:MPa	異常の有無	B2F	共通設備	外観異常	
汚水ポンプ	No.1	現場・遠方	(55.0)	%	×10 m ³ /h	MPa		B2F	床排水ポンプ		
	No.2	現場・遠方	(55.0)	-		MPa		B3F	共通設備	外観異常	
	No.3	現場・遠方	(55.0)	-		MPa			ポンプ井排水ポンプ		
	No.4	現場・遠方	(55.0)	%		MPa			床排水ポンプ		
	No.5	現場・遠方	(55.0)	-		MPa					
	No.6	現場・遠方	(55.0)	-		MPa					
B1F	最初沈殿池	外観異常	B2F	汚泥ポンプ設備	外観異常	B2F	共通設備	外観異常			
	初沈汚泥掻き機			生汚泥ポンプ			床排水ポンプ				
B1F	除砂機械設備	外観異常	B1F	除塵機設備	外観異常	B1F	除砂機械設備	確認・除去	B1F	共通設備	外観異常
	沈砂掻き機			自動除塵機			粗ゴミ堆積状況			ピット排水ポンプ	
2F	除塵機設備	確認・清掃	2F	スカム除去設備	確認・清掃	2F	共通設備	確認・均し			
	しき分塵機			スカム分離機			しき・沈砂ホッパー				
1F	反応タンク	外観異常	B3F	共通設備	外観異常						
	反応タンク用攪拌機			床排水ポンプ							
1F	最終沈殿池	外観異常	B3F	汚泥ポンプ設備	外観異常	B3F	汚泥ポンプ設備	外観異常	B3F	共通設備	外観異常
	終沈汚泥掻き機			返送汚泥ポンプ			余剰汚泥ポンプ			床排水ポンプ	
	終沈液流状況										
B3F	用水設備	外観異常	B3F	共通設備	残量	B3F	共通設備	外観異常	1F	消毒機械室	液位計残量
	用水設備機器			次亜タンク(ろ過器用)	L		床排水ポンプ		次亜塩素酸ソーダ 貯留タンク	No.1	m ³
1F	消毒設備	流量確認	1F	消毒設備	外観異常						
	次亜注入ポンプ			防液堤確認							
									No.2	m ³	
									No.3	m ³	

S V 測定用紙

測定日時 平成 0年 0月 0日

(測定時刻 14:00)



池番号	No.0	1系(実線)	2系(点線)
SV(%)	0	No.0	No.0
MLSS(mg/L)	0	0	0
SVI	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

備考	
----	--

酸素欠乏等危険作業記録用紙

日時	平成	年	月	日	天候
場所					
作業内容					
作業主任者					
測定者	修了証番号				
作業者	氏名	作業	分担		

総括	副総括	主任	作業主任者

(記録は3年間保存)

作業前教育 実施 未実施

安全用具	換気ファン	使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
	梯子	使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
	安全带・命綱	使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
	空気呼吸器	使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

安全器具形式	ガス濃度測定器	ポケッタンブルマルチガスモニター GX-2009
	吸引用ポンプ	ガス吸引用ポンプユニット RP-2009
	空気呼吸器	
	換気ファン	

- ◆ 作業前
水平・垂直それぞれ
基本 3点以上
- ◆ 作業中
1時間毎ポイントを
決め測定する
- ◆ 測定者
酸欠資格者が実施
する
- ◆ 酸素濃度
20%以上であること
- ◆ 硫化水素濃度
10ppm以下であること

測定点略図

安全確認	作業前	<input type="checkbox"/> 立ち入り禁止標識 <input type="checkbox"/> 梯子取付 <input type="checkbox"/> 安全带・命綱 <input type="checkbox"/> 空気呼吸器 <input type="checkbox"/> 酸素、硫化水素濃度 <input type="checkbox"/> 換気装置
	作業後	<input type="checkbox"/>

測定時刻	時 分		時 分		時 分		時 分		時 分		時 分	
	測定結果	酸化水素 (ppm)	測定結果	酸化水素 (ppm)	測定結果	酸化水素 (ppm)	測定結果	酸化水素 (ppm)	測定結果	酸化水素 (ppm)	測定結果	酸化水素 (ppm)
測定点	①		②		③		④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨							

次亜塩素酸ソーダ入出庫簿

平成30年度

比重:1.135

月	No.1	No.2	No.3	合計	出荷量	使用量	入荷量	
	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(L)	(L)	(kg)	(L)
4月								
5月								
6月								
7月								
8月								
9月								
10月								
11月								
12月								
1月								
2月								
3月								
合計								

備考 各タンク残量は月末24時の残量になります。
 次亜使用量はポンプ回転数から計算で出しているため、出荷量と誤差が出ています。

用水設備次亜塩素酸ソーダ入出庫簿

平成30年度

月	貯留タンク残量	出荷量	使用量	補充量
	(m ³)	(L)	(L)	(kg)
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計				
備考				

運転管理体制及び定期打合せ方法等の運用(発注者・受注者間)

- 定期打合せについては、原則として水処理・汚泥処理施設の運転管理業務の受注者が同席して開催する。
- 水質週報告会については、水処理施設の運転管理業務の受注者との間で実施する。
- 各打合せにおける受注者側の参加メンバーは、受注者の判断とする。

定期打合せ	打合せの内容等	報告者・説明者
①毎日開催(日報告会) (原則として平日毎朝9:30～ 事務室内打合せテーブル)	日報報告	受注者(水処理・汚泥処理)
	故障・不具合報告等	受注者(水処理・汚泥処理)
	その他連絡事項	双方
②毎週開催(水質週報告会)	水質試験結果報告	水質管理係
	今後の運転方法(管理値変更等)	双方
	その他連絡事項	双方
③毎月開催(月度報告会) (原則として第2木曜日13:30 ～ 汚泥処理棟4F会議室)	月報報告	受注者(水処理・汚泥処理)
	故障・不具合報告等	受注者(水処理・汚泥処理)
	整備工事計画説明	整備係
	その他連絡事項	双方

低入札価格調査について

低入札価格調査に関しては次のとおりとなりますので、記載事項を十分確認してください。

1 対象者

低入札価格調査基準価格を下回る入札をされた方全員

2 提出書類

- (1) 誓約書（様式第1）
- (2) 入札金額の積算内訳書（任意様式）
- (3) 調査票（様式1）
- (4) 調査票（様式1）の各項目に関連する添付書類（別紙「調査票の記入にあたっての注意事項」を参照のこと。

3 提出期限

平成31年1月29日（火）17時まで・・・期限厳守

- ・期限までに提出のない場合は失格とします。

4 低入札価格調査に関するヒアリング調査について

- ・最低価格で入札した方を対象に、担当課と契約課によるヒアリング調査を行います。日時及び場所については資料提出後、別途連絡します。
- ・最低価格で入札した方のヒアリング調査の結果、落札候補者と決定する場合は、本件の低入札価格調査は終了となります。落札候補者とならない場合は、次順位の方のヒアリング調査を行います（次順位も低入札価格調査対象者である場合に限り）。以下、同様に行います。
- ・ヒアリング結果については、決定後、ヒアリング対象者のみに連絡します。

5 入札結果の報告

- ・入札結果については、契約後、契約課事務室での掲示となります。
- ・案件により調査期間は異なりますので、結果報告日はお知らせできかねます。

6 関係要綱等

低入札価格調査については、次の要綱及び要領をよく確認してください（別添参照）。

- (1) 業務委託契約に係る低入札価格調査要綱（平成15年10月21日市長決裁）
- (2) 業務委託契約に係る低入札価格調査要綱実施要領（平成15年10月21日財政局長決裁）

誓 約 書

平成 年 月 日

様

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

当社は、労働社会保険諸法令、その他関連法令を遵守しており、また契約締結後においても同法令を遵守するとともに、説明を求められた際には誠実に応じる事をあらためて誓約します。

様式 1

調 査 票

調 査 項 目	内 容
①業務を実施するに 当たり計画している 技術者等の人員配置 その他の当該業務の 実施体制	
②労務等の提供につ いて市場価格以下の 価格による提供が可 能な場合の理由	
③現在実施している 業務のその実施状況	
④価格の算定に当た り、技術計算等につ いて外注している場 合にあっては、その外 注 内容	

<p>⑤以前受託した業務委託における実施状況</p>	
<p>⑥経営状況等</p>	
<p>⑦労働社会保険諸法令の遵守状況</p>	
<p>⑧その他価格の算定の調査に関し必要と認められる事項</p>	

【調査票の記入にあたっての注意事項】

様式 1

調 査 票

調 査 項 目	内 容
①業務を実施するに 当たり計画している 技術者等の人員配置 その他の当該業務の 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ●本件全体の業務工程表等を提出すること。なお、仕様書に定める業務 についての実施時期や回数、月間の人員配置（1日あたりの配置予定 者数）等がわかるものを提出すること。 ●従事予定者別の業務工程表等を提出すること。なお、各従事予定者の 業務工種、月間の延べ従事時間数等がわかるものを提出すること。
②労務等の提供につ いて市場価格以下の 価格による提供が可 能な場合の理由	<ul style="list-style-type: none"> ●本件の入札にあたり、どのような理由により市場価格以下の提供に至 ったのか、その理由を詳細に記入すること。 ●入札金額の積算にあたって、特に経費を低減したものは何か、また、 それはどのような理由から当該価格等で提供可能になったのか、具体 的に記入すること。
③現在実施している 業務のその実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●本件と類似業務の公共施設の受注実績について、契約期間、金額、相 手先、施設名、施設の規模、1日の平均従事者数がわかるように記入す ること（最大20件程度の実績で可）。 ●仙台市発注、宮城県内発注、宮城県外発注の順番で記入すること。 ●欄が足りない場合は別紙を作成し添付すること。
④価格の算定に当た り、技術計算等につ いて外注している場合 にあつては、その外注 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本件の業務における外注の有無を記入すること。 ●外注する業務全てについて記入すること。 ●外注する業務の内容、予定している相手方、金額を記入すること。

<p>⑤以前受託した業務委託における実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本件と類似業務の公共施設の受注実績について、契約期間、金額、相手先、施設名、施設の規模、1日の平均従事者数がわかるように記入すること（最大10件程度の実績で可）。 ●仙台市発注、宮城県内発注、宮城県外発注の順番で記入すること。 ●欄が足りない場合は別紙を作成し添付すること。
<p>⑥経営状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の経営状況及び今後の見通しについて記入すること。 ●決算書のうち、貸借対照表及び損益計算書の写しを提出すること（過去3年分）。 ●現在の総従業員数を記入すること（業務内容別の内訳数及び雇用形態別の内訳数も記入すること）。
<p>⑦労働社会保険諸法令の遵守状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本件の従事予定者のそれぞれについて、雇用形態（職名）、労働契約期間、1日あたりの予定労働時間、労災保険・雇用保険・健康保険・厚生年金の加入・非加入の状況を記入すること。 ●欄が足りない場合は別紙を作成し添付すること。
<p>⑧その他価格の算定の調査に関し必要と認められる事項</p>	

業務委託契約に係る低入札価格調査要綱

業務委託契約に係る低入札価格調査要綱（平成14年3月28日市長決裁）の全部を改正する。

（平成15年10月21日市長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、競争入札により請負（工事及び製造に係るものを除く。）の契約を締結しようとする場合において、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「令」という。）第167条の10第1項（令第167条の13により準用する場合を含む。）の規定により、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札をした者を調査のうえ、落札者としないうちの手続等を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 契約権者 仙台市事務決裁規程（平成元年仙台市訓令第7号）に定める委託契約の締結に係る決裁権者又は専決権者をいう。
- (2) 入札執行者 入札事務を執行する職員をいう。
- (3) 調査基準価格 仙台市契約規則（昭和39年仙台市規則第47号。以下「規則」という。）第12条第6項（規則第16条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づいて作成する、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者の当該申込みに係る価格によってはその者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められる場合又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められる場合の基準となる価格をいう。
- (4) 低価格入札 調査基準価格を下回る入札をいう。
- (5) 低価格入札者 調査基準価格を下回る入札を行った者をいう。
- (6) 最低価格入札者 調査基準価格を下回り、最低の価格で入札を行った者をいう。
- (7) 特例政令適用基準額 地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第3条に規定する総務大臣の定める区分に応じ総務大臣の定める額をいう。
- (8) 契約事務特別委員会 仙台市契約事務に関する審査委員会規程（平成6年仙台市訓令第18号。以下「訓令」という。）第1条第1号に規定する契約事務特別委員会をいう。
- (9) 契約担当課 財政局財政部契約課、区役所区民部総務課又は区役所総合支所総務課をいう。

（対象とする契約）

第3条 この要綱は、契約担当課において、工事に係る業務委託契約であってその予定価格が特例政令基準額以上のもの又は建築物の清掃業務若しくは警備業務（警備業法（昭和47年法律第117号）第2条第5項に規定する機械警備業務を除く。）の委託契約であってその予定価格が300万円以上のものその他市長が特に必要と認める業務委託契約を競争入札により締結しようとする場合について適用する。

2 前項の場合においては、当該契約に係る規則第5条に規定する一般競争入札の公告（以下「入札公告」

という。)を実施する場合にあっては当該公告に、令第167条の12第2項に規定する指名競争入札の指名に係る通知(以下「指名通知」という。)を実施する場合にあっては当該通知に、この要綱の規定を適用する旨を明示するものとする。

(調査基準価格)

第4条 調査基準価格は、当該契約に係る予定価格から消費税及び地方消費税の額に相当する額を控除して得た額に100分の65(工事に係る業務委託契約にあっては100分の70)を乗じて得た額(当該額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額)とする。

(低価格入札があった場合の措置)

第5条 入札執行者は、低価格入札が行われたときは、落札の決定を保留するものとし、調査の上後日落札者を決定する旨を告げて、入札を終了する。

(調査等の実施)

第6条 低価格入札者は、低価格入札が行われた日から原則として7日以内に、誓約書(様式第1)及び次項各号に掲げる事項に関する資料で契約権者が指定するものを契約権者に提出しなければならない。

2 契約権者は、低価格入札が行われたときは、当該低価格入札者により、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるかどうか、及びその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるかどうかにつき、設計担当課長とともに、次に掲げる事項について、低価格入札者からの事情聴取、関係機関等への照会等により調査を行うものとする。ただし、低価格入札者の全部について当該調査を行うことを困難とする事情があるときは、低価格入札者の一部について当該調査を行うことができる。

- (1) 業務を実施するに当たり当該低価格入札者が計画している技術者等の人員配置その他の当該業務の実施体制
- (2) 当該低価格入札者が、労務等の提供について市場価格以下の価格による提供が可能である旨の主張をしている場合にあっては、その理由
- (3) 当該低価格入札者が現在実施している業務のその実施状況
- (4) 当該低価格入札者が価格の算定に当たり、技術計算等について外注している場合にあっては、その外注内容
- (5) 当該低価格入札者が以前受託した業務委託における実施状況
- (6) 当該低価格入札者の経営状況等
- (7) 労働社会保険諸法令の遵守状況
- (8) その他価格の算定の調査に関し必要と認められる事項

3 契約権者は、最低価格入札者について低価格調査票を作成するものとする。

(契約権者による措置)

第7条 契約権者は、前条の規定による調査の結果、当該最低入札価格によっても当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがないと認められるときであって、かつ、当該最低価格入札者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがないと認められるときは、当該最低価格入札者を落札者と決定するものとし、それ以外のときは、契約事務特別委員会に訓令第2条第1項第14号、第4条第7

号又は第5条第2号に規定する低入札価格調査をさせなければならない。

(契約事務特別委員会の審査結果を踏まえた落札者の決定)

第8条 前条後段の場合、契約事務特別委員会は、当該最低入札価格によっても当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるかどうか、及び当該最低価格入札者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるかどうかについて調査及び判定を行い、その結果を低入札価格調査結果表により契約権者に提出するものとする。

2 契約権者は、前項の規定により提出された契約事務特別委員会の調査及び判定の結果を踏まえ、当該最低入札価格によっても当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められないときであつて、かつ、当該最低価格入札者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められないときは、当該最低価格入札者を落札者と決定し、それ以外のときは、落札者とししないものとする。

(次順位価格の入札者等の準用)

第9条 契約権者は、前条第2項の規定により最低価格入札者を落札者とししない場合においては、予定価格の制限の範囲内の最低入札価格に次いで低い価格（以下「次順位価格」という。）が調査基準価格以上の価格であるときは、当該次順位価格の入札者を落札者と決定し、次順位価格が調査基準価格を下回る価格であるときは、当該入札者につき第6条第3項、第7条及び前条の規定を準用する。

2 次順位価格の入札者を落札者と決定しない場合においては、次順位価格から順に低い価格の入札者について前項の規定を準用する。

(入札者への通知)

第10条 契約権者は、第7条、第8条第2項又は前条の規定により落札者を決定した場合は、直ちに当該落札者と決定された入札者に落札した旨を通知するとともに、他の入札者全員に対してもその旨を通知するものとする。

2 契約権者は、第8条第2項の規定（前条により準用する場合を含む。）により、前項の落札者よりも低い価格で入札の申込みを行った者を落札者とししない場合、当該入札の申込みを行った者に対してはその理由もあわせて通知するものとする。

3 第1項の規定による他の入札者全員に対する通知は、前項の場合を除き、入札経過表の掲示をもって通知に代えることができる。

(契約の特約等)

第11条 契約権者は、契約の適正な履行を確保するため、第7条の規定により落札者を決定した場合（第9条において準用する場合を含む。）は契約書に別記1に掲げる条項を、第8条第2項の規定により落札者を決定した場合（第9条において準用する場合を含む。）は契約書に別記1及び別記2に掲げる条項を、それぞれ加えて当該落札者と契約を締結するものとする。

2 契約権者は、第7条又は第8条第2項の規定により落札者を決定した場合（第9条において準用する場合を含む。）、第6条第1項に規定する誓約書のほかに、当該落札者から当該業務の適正履行に関し誓約書を徴収することができる。

(労働社会保険諸法令の遵守状況に関する調査)

第11条の2 設計担当課長は、契約権者が第7条又は第8条第2項の規定により落札者を決定しその者を契約の相手方とした場合（第9条において準用する場合を含む。）、当該契約の相手方に対し、当該業務の履行期間中における労働社会保険諸法令の遵守状況を確認するために必要な書類について提出若しくは提示を求め、又は当該書類の内容について事情聴取を行うことができる。

(実施細目)

第12条 この要綱に関し必要な事項は財政局長が別に定める。

附 則

(実施期日)

1 この要綱は、平成15年10月28日から実施する。

(経過措置)

2 この要綱の規定は、この要綱の実施の日以後に発注手続に着手する業務委託契約について適用し、同日前に発注手続に着手した業務委託契約については、なお従前の例による。

附 則 (平成16年3月4日改正)

(実施期日)

1 この改正は、平成16年3月15日から実施する。

(経過措置)

2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱の規定は、この改正の実施の日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則 (平成16年12月16日改正)

(実施期日)

1 この改正は、平成17年1月1日から実施する。

(経過措置)

2 この要綱の規定は、この要綱の実施の日以降に発注手続に着手する業務委託契約について適用し、同日前に発注手続に着手した業務委託契約については、なお従前の例による。

附 則 (平成18年3月22日改正)

(実施期日)

1 この改正は、平成18年3月22日から実施する。

(経過措置)

2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱の規定は、この改正の実施の日以後に入札を行う業務委託契約について適用し、同日前に入札を行った業務委託契約については、なお従前の例による。

附 則 (平成19年6月30日改正)

(実施期日)

1 この改正は、平成19年7月1日から実施する。

(経過措置)

2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱の規定は、平成19年7月18日以後に発注手続に着手

する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則（平成23年4月1日改正）

（実施期日）

この改正は、平成23年4月1日から実施する。

附 則（平成24年9月18日改正）

（実施期日）

この改正は、平成24年9月18日から実施する。

附 則（平成26年9月26日改正）

（実施期日）

- 1 この改正は、平成26年10月1日から実施する。
- 2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱の規定は、平成26年10月1日以後に行われた入札公告又は指名通知（以下この項において「入札公告等」という。）に係る契約について適用し、同日前に行われた入札公告等に係る契約については、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月18日改正）

（実施期日）

- 1 この改正は、平成28年4月1日から実施する。
- 2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱の規定は、平成28年4月1日以後に行われた入札公告又は指名通知（以下この項において「入札公告等」という。）に係る契約について適用し、同日前に行われた入札公告等に係る契約については、なお従前の例による。

附 則（平成29年3月14日改正）

この改正は、平成29年4月1日から実施する。

附 則（平成29年5月31日改正）

この改正は、平成29年6月1日から実施する。

誓 約 書

平成 年 月 日

様

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

当社は、労働社会保険諸法令、その他関連法令を遵守しており、また契約締結後においても同法令を遵守するとともに、説明を求められた際には誠実に応じる事をあらためて誓約します。

別記1 特に定めた契約条件

(業務体制を確認できる書類の提出及びその内容についての事情聴取)

第1条 受注者は、その業務体制について記載した書類を作成し、発注者からその提出を求められたときは、これに応じなければならない。

2 受注者は、前項に規定する書類について発注者から事情聴取を求められたときは、これに応じなければならない。

第2条 受注者は、業務を行うに当たり仕様書に基づき計画した内容について記載した書類を作成し、発注者からその提出を求められたときは、これに応じなければならない。

2 受注者は、前項に規定する書類について発注者から事情聴取を求められたときは、これに応じなければならない。

第3条 受注者は、業務を行うに当たり労働社会保険諸法令の遵守状況について確認できる書類について、発注者からその提出又は提示を求められたときは、これに応じなければならない。

2 受注者は、前項に規定する書類について発注者から事情聴取を求められたときは、これに応じなければならない。

別記2 特に定めた契約条件

【土木設計業務等業務委託契約書（第5－2号様式），建築設計業務委託契約書（第5－3号様式）】

（契約の保証）

第1条 本則第4条第2項中「10分の1以上」とあるのは「10分の3以上」と読み替えて適用するものとする。

2 本則第4条第4項中「10分の1」とあるのは「10分の3」と読み替えて適用するものとする。

（違約金の徴収）

第2条 本則第41条の2第1項中「10分の1」とあるのは「10分の3」と読み替えて適用するものとする。

【建設工事監理業務委託契約書（第5－4号様式）】

（契約の保証）

第1条 本則第4条第2項中「10分の1以上」とあるのは「10分の3以上」と読み替えて適用するものとする。

2 本則第4条第4項中「10分の1」とあるのは「10分の3」と読み替えて適用するものとする。

（違約金の徴収）

第2条 本則第35条の2第1項中「10分の1」とあるのは「10分の3」と読み替えて適用するものとする。

【業務委託契約書（第5－1－2号様式）】

（契約の保証）

第1条 本則第3条第2項中「10分の1（仙台市契約規則（昭和39年仙台市規則第47号。以下「規則」という。）第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額）以上」とあるのは「10分の3（仙台市契約規則（昭和39年仙台市規則第47号。以下「規則」という。）第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額の3倍）以上」と読み替えて適用するものとする。

2 本則第3条第4項中「10分の1（規則第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額）」とあるのは「10分の3（規則第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額の3倍）」と読み替えて適用するものとする。

（違約金の徴収）

第2条 本則第25条の2第1項中「10分の1（規則第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額）」とあるのは「10分の3（規則第20条第9号に該当する場合にあっては，財政局長が別に定める基準による額の3倍）」と読み替えて適用するものとする。

業務委託契約に係る低入札価格調査要綱実施要領

(平成 15 年 10 月 21 日財政局長決裁)

業務委託契約に係る低入札価格調査要綱（平成 15 年 10 月 21 日市長決裁。以下「要綱」という。）第 1 2 条の規定に基づき、要綱の実施要領を次のとおり定める。

第 1 (様式)

- 1 要綱第 6 条第 1 項に規定する同条 2 項各号に掲げる事項に関する資料は、様式 1 によるものとする。
- 2 要綱第 6 条第 3 項に規定する低価格調査票は、様式 2 によるものとする。
- 3 要綱第 8 条第 1 項に規定する低入札価格調査結果表は、様式 3 によるものとする。

附 則

(実施期日)

- 1 この要領は平成 15 年 10 月 28 日から実施する。
(経過措置)
- 2 この要領の規定は、この要領の実施の日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則

(実施期日)

- 1 この改正は平成 16 年 3 月 15 日から実施する。
(経過措置)
- 2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱実施要領の様式は、この改正の実施の日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則

(実施期日)

- 1 この改正は平成 19 年 7 月 1 日から実施する。
(経過措置)
- 2 改正後の業務委託契約に係る低入札価格調査要綱実施要領の様式は、平成 19 年 7 月 18 日以後に発注手続に着手する契約について適用し、同日前に発注手続に着手したものについては、なお従前の例による。

附 則 (平成 29 年 3 月 14 日改正)

この改正は、平成 29 年 4 月 1 日から実施する。

様式 1

調 査 票

調 査 項 目	内 容
<p>①業務を実施するに 当たり計画している 技術者等の人員配置 その他の当該業務の 実施体制</p>	
<p>②労務等の提供につ いて市場価格以下の 価格による提供が可 能な場合の理由</p>	
<p>③現在実施している 業務のその実施状況</p>	
<p>④価格の算定に当た り、技術計算等につ いて外注している場 合にあつては、その 外注内容</p>	

⑤以前受託した業務委託における実施状況	
⑥経営状況等	
⑦労働社会保険諸法令の遵守状況	
⑧その他価格の算定の調査に関し必要と認められる事項	

様式 2

低 価 格 調 査 票

(1 / 2)

1 調査概要

業 務 名		調査年月日	年 月 日
入札業者名		入札年月日	年 月 日
調査実施者	契約権者	設計担当課長	
調査出席者			
予定価格	円	調査基準価格	円
		入札価格	円

2 調査結果

調 査 項 目	調 査 結 果
①業務を実施するに 当たり当該低価格入 札者が計画している 技術者等の人員配置 その他の当該業務の 実施体制	
②当該低価格入札者 が、労務等の提供に ついて市場価格以下 の価格による提供が 可能である旨の主張 をしている場合にあ っては、その理由	
③当該低価格入札者 が現在実施している 業務のその実施状況	
④当該低価格入札者 が価格の算定に当た り、技術計算等につ いて外注している場 合にあっては、その 外注内容	

<p>⑤当該低価格入札者が以前受託した業務委託における実施状況</p>	
<p>⑥当該低価格入札者の経営状況等</p>	
<p>⑦労働社会保険諸法令の遵守状況</p>	
<p>⑧その他価格の算定の調査に関し必要と認められる事項</p>	

3 対応方針

<p>契約権者の対応方針</p>	
------------------	--

様式 3

低 入 札 価 格 調 査 結 果 表

平成 年 月 日開催した契約事務特別委員会において、下記のとおり決定した。

契約事務特別委員会
委員長 ○○ ○○

記

業務名				
予定価格：A	円		調査基準価格：B	円
低価格入札者名	入札価格(円) C	入札率(%) C/A	調査結果の表示	
			契約の内容に適合した履行等の当否	理由
摘要				

- ※1 「契約の内容に適合した履行等の当否」の欄には、「当」又は「否」を記入すること。
 ※2 「理由」の欄は、「契約の内容に適合した履行等の当否」に「否」と記入した場合のみ具体的に記入すること。